

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成 23 年 3 月 3 日 (2011.3.3)

【公開番号】特開 2009-170685 (P2009-170685A)
 【公開日】平成 21 年 7 月 30 日 (2009.7.30)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-030
 【出願番号】特願 2008-7700 (P2008-7700)
 【国際特許分類】

H 0 1 G 4/18 (2006.01)

H 0 1 G 4/015 (2006.01)

【F I】

H 0 1 G 4/24 3 0 1 C

H 0 1 G 4/24 3 0 1 F

H 0 1 G 4/24 3 2 1 E

H 0 1 G 4/24 3 3 1 B

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 1 月 13 日 (2011.1.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

誘電体フィルム上に金属蒸着電極を形成した金属化フィルムを一对とし、上記金属蒸着電極が誘電体フィルムを介して対向するように重ね合わせて巻回した素子と、
 この素子の両端面に金属溶射によって形成された一对のメタリコン電極からなる金属化フィルムコンデンサにおいて、
 上記金属化フィルムとして、誘電体フィルムの幅方向の一端側に非金属蒸着部からなる絶縁マージンを長手方向に連続して設けると共に、
 この絶縁マージンから他端側に向かって非金属蒸着部からなる横マージンを設けることにより複数の分割電極が形成され、
 かつ、誘電体フィルムの長手方向に亘って非金属蒸着部からなる縦マージンを設け、
 この縦マージンと横マージンの少なくとも一方が、金属化フィルムを巻回して素子を作製する際の走行方向に対して傾斜するようにしたものを用いた金属化フィルムコンデンサ。

【請求項 2】

金属化フィルムに設けられる横マージンを山形状または円弧状にし、この山形状または円弧状の頂部が金属化フィルムを製造する際の誘電体フィルムの走行方向に向かうようにした請求項 1 に記載の金属化フィルムコンデンサ。

【請求項 3】

縦マージンまたは横マージンにヒューズ部を設けることにより、複数の分割電極を夫々並列接続した自己保安機構を設けた請求項 1 に記載の金属化フィルムコンデンサ。

【請求項 4】

金属化フィルムを構成する誘電体フィルムとしてポリプロピレンフィルムを用いた請求項 1 に記載の金属化フィルムコンデンサ。

【請求項 5】

ポリプロピレンフィルムとして厚みが 3 μ m 以下のものを用いた請求項 4 に記載の金属化フィルムコンデンサ。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１６】

上記課題を解決するために本発明は、金属化フィルムコンデンサを構成する金属化フィルムが、誘電体フィルムの幅方向の一端側に非金属蒸着部からなる絶縁マージンを長手方向に連続して設けると共に、この絶縁マージンから他端側に向かって非金属蒸着部からなる横マージンを設けることにより複数の分割電極が形成され、かつ、誘電体フィルムの長手方向に亘って非金属蒸着部からなる縦マージンを設け、この縦マージンと横マージンの少なくとも一方が、金属化フィルムを巻回して素子を作製する際の走行方向に対して傾斜するようにした構成のものである。